



THINK × ACT
KANSAI
UNIVERSITY

平成22年度 BLSP説明会

関西大学



BLSP説明会スケジュール

- 10:00～10:15(15分) BLSP科目の履修方法と履修モデルおよび費用(馬場)
- 10:15～10:30(15分) 「実践データ分析」「実践海外研修」(川上)
- 10:30～10:45(15分) 「実践フィールドワーク」(岸谷)
- 10:45～11:00(15分) 「上級ビジネス英語(BLSP)」「英語で学ぶ現代ビジネス」
(中邑・岡本・ケリー)
- 11:00～11:05(5分) <休憩>
- 11:05～11:15(10分) 「アントレプレナーシップ」(真造)
- 11:15～11:25(10分) 「リーダーシップと英語力」調査の結果(小野・中邑)
- 11:25～11:35(10分) 春休み中の事前課題について(岡本・岸谷)
- 11:35～11:45(10分) 質疑応答
- 11:45～12:10(25分) 履修登録説明(玉村)、物品貸与(西岡、河合)

2010/3/9 *BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University* 2

教員紹介

担当	氏名	紹介
プロジェクト	川上 智子	教育GPリーダー。専門は新製品開発。経営入門でおなじみ。
	岸谷 和広	専門は広告。流通入門でおなじみ。
	馬場 一	専門は国際マーケティング。流通入門でおなじみ。
ビジネス英語	中邑 光男	ビジネス英語教育の第一人者。ジーニアス和英辞典等を編纂。
	岡本 真由美	専門は語彙教育。企業研修等の英語実践教育でも活躍。
	カーティス・ハート・ケリー	アメリカ出身。『ケリーさんのすれちがい100 日米ことば摩擦』ほか多数の英語テキストを出版。
選択科目	小野 善生	「経営学特殊講義(リーダーシップ論)」担当。リーダーシップをフォロワーの視点で研究。『リーダーシップ』著。
	西岡 健一	「ビジネスモデル入門」担当。NTT勤務後、エジンバラ大学マネジメントスクール博士号を取得。
	鈴木 政史	「実践 経営者とCSRマネジメント」担当。コロンビア大学修士号、エラスムス大学博士号。国際大学ビジネススクールを経て、2010年4月より関大に着任。
客員教授	マーク・パリー	ミズーリ・カンザス・シティ大学教授。イノベーション分野で世界トップテン。「実践 ケーススタディ」でマクドナルドやアマゾンのケーススタディを担当。
	アンソニー・ディベネディート	テンブル大学教授。専門はイノベーション。Journal of Product Innovation Management編集長。「実践テクノロジーマネジメント」担当。

2010/3/9

BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University

3

BLSFの授業科目

12科目24単位まで卒業所要単位に算入可能


【第7類】「BLSF」(許可制科目)[17科目]	単位	配当	担当者
プロジェクト科目群(4科目)			
実践 データ分析☆	2	3・春	川上・岸谷・馬場
実践 海外研修☆	2	3・秋	川上・岸谷・馬場
実践 フィールドワーク☆	2	4・春	川上・岸谷・馬場
流通問題特殊講義(BLSF)	2	4・春	川上・岸谷・馬場
ビジネス英語科目群(4科目)			
プレゼンテーション入門☆	2	2・秋	中邑・岡本・ケリー
上級ビジネス英語 I (BLSF)	2	3・春	中邑・岡本・ケリー
上級ビジネス英語 II (BLSF)	2	3・秋	中邑・岡本・ケリー
英語で学ぶ現代ビジネス	2	4・秋	中邑・岡本・ケリー
BLSF選択科目群(7科目)			
ビジネスモデル入門☆	2	2・秋	西岡
経営学特殊講義(リーダーシップ論)	2	2・秋	小野
ビジネス研究(アントレプレナー)	2	3・春	真造+実務家
実践 ケーススタディ☆	2	3・夏期集中	パリー
実践 経営者とCSRマネジメント☆	2	3・秋	鈴木
ビジネス研究(グローバルリーダー)	2	3・秋	馬場+実務家
実践 テクノロジーマネジメント☆	2	3・冬期集中	ディベネディート

☆印は5類BLSF科目(計8科目)、他は第3類・第6類の科目です。


2010/3/9

BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University

4



The First Educational Programs Unique in Kansai University's Faculty of Commerce
Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills



THINK & ACT
KANSAI
UNIVERSITY

実践 経営者とCSRマネジメント

鈴木政史

- 講義のポイント
- ◆ グローバル化する企業にとってのCSRの課題
(環境問題・人権問題)への理論と実際
- ◆ 4つのパートの講義構成
 1. CSR経営論の概要－変遷・概念・理論
 2. CSR経営課題とステイクホルダーの役割
国際環境問題と国際人権問題、ステイクホルダー
 3. CSR経営論の実際
3社のケース
 4. グループ・プロジェクト
自ら企業2社及びCSR課題を選択し、与えられた基準に基づいて
2社のCSR経営の評価を行う。レポート作成と講義での発表。


2010/3/9
BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University
5

実践 経営者とCSRマネジメント


講義計画

- Part A: CSR経営論の概要－変遷・概念・理論**
 1. 授業概要と目標・「グループ・プロジェクト」の解説
 2. CSR経営論の変遷とグローバルな潮流
 3. 第3回: CSR経営論の概念と理論
- Part B: CSR経営課題とステイクホルダーの役割**
 4. CSR経営課題1－国際環境問題
 5. CSR経営課題2－国際人権問題
 6. ステイクホルダーの役割－NGO・市民社会
 7. ステイクホルダーの役割－金融業界(銀行・保険・証券)
 8. CSR経営課題のまとめ
- Part C: CSR経営論の実際**
 9. ケース1－米国企業
 10. ケース2－欧州企業
 11. ケース3－米国企業
- Part D: 「グループ・プロジェクト」の成果発表と総括**

2010/3/9
BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University
6



The First Educational Programs Unique in Kansai University's Faculty of Commerce
Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills



THINK & ACT
KANSAI
UNIVERSITY

ビジネス研究(グローバルリーダー) 実務家+馬場

- 講義のポイント
- ◆ 競争優位としてのグローバル・リーダーシップ
 - 理論からのアプローチ
国際経営論, 異文化経営論, リーダーシップ論, ダイバーシティ・マネジメント, グローバル・ビジネス・チーム
 - 実践からのアプローチ
外資系グローバル企業, 日系製造企業, 総合商社からのゲスト・スピーカー
- ◆ アウトプット
 - グローバル・リーダーの役割とは
 - 必要なスキルとは
 - 将来のキャリア・デザイン

2010/3/9

BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University

7

ビジネス研究(グローバルリーダー) 講義計画

1. イントロダクション 国際経営の基本的な考え方
2. 異文化経営の理論
3. 異文化経営の実践
4. リーダーシップの理論
5. グローバル・リーダーシップの理論
6. グローバル・リーダーシップの実践
7. ダイバーシティ・マネジメントの理論
8. ダイバーシティ・マネジメントの実践
9. グローバル・ビジネス・チームの理論
10. グローバル・ビジネス・チームの実践
11. 日系製造企業におけるグローバル・リーダーシップの実践(1)
12. 日系製造企業におけるグローバル・リーダーシップの実践(2)
13. 日系商社におけるグローバル・リーダーシップの実践
14. まとめ

2010/3/9

BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University

8

Playful & Cool The Four Educational Programs Unique to Kansai University's Faculty of Commerce Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills

THINK × ACT KANSAI UNIVERSITY

実践 ケーススタディ(英語) 8月2日～5日



マーク・E・パリー教授

2010/3/9 BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University 9

Playful & Cool The Four Educational Programs Unique to Kansai University's Faculty of Commerce Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills

THINK × ACT KANSAI UNIVERSITY

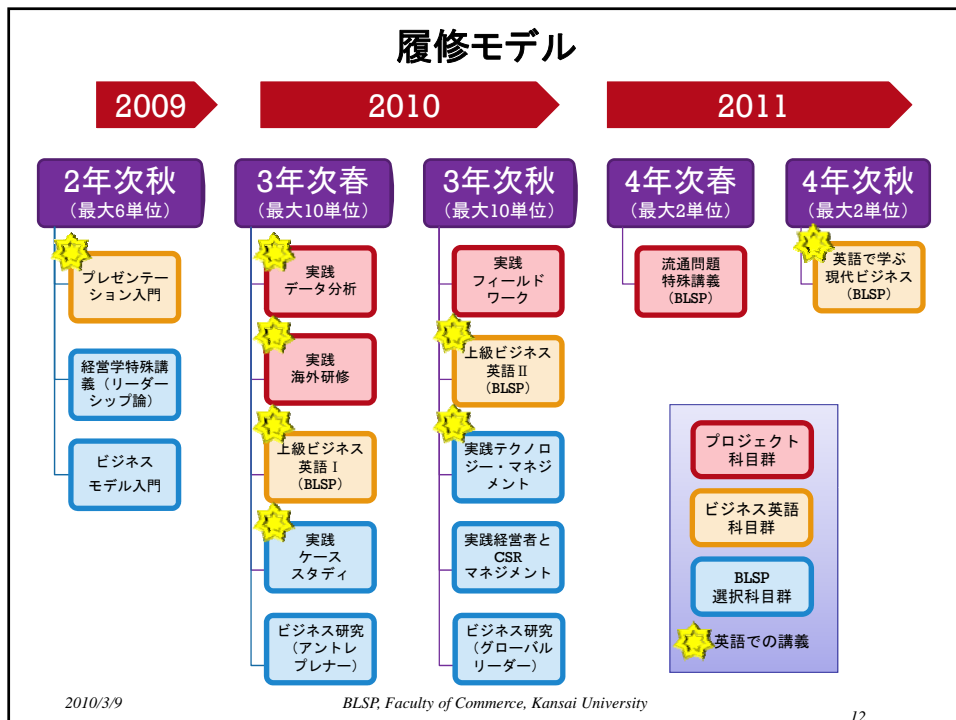
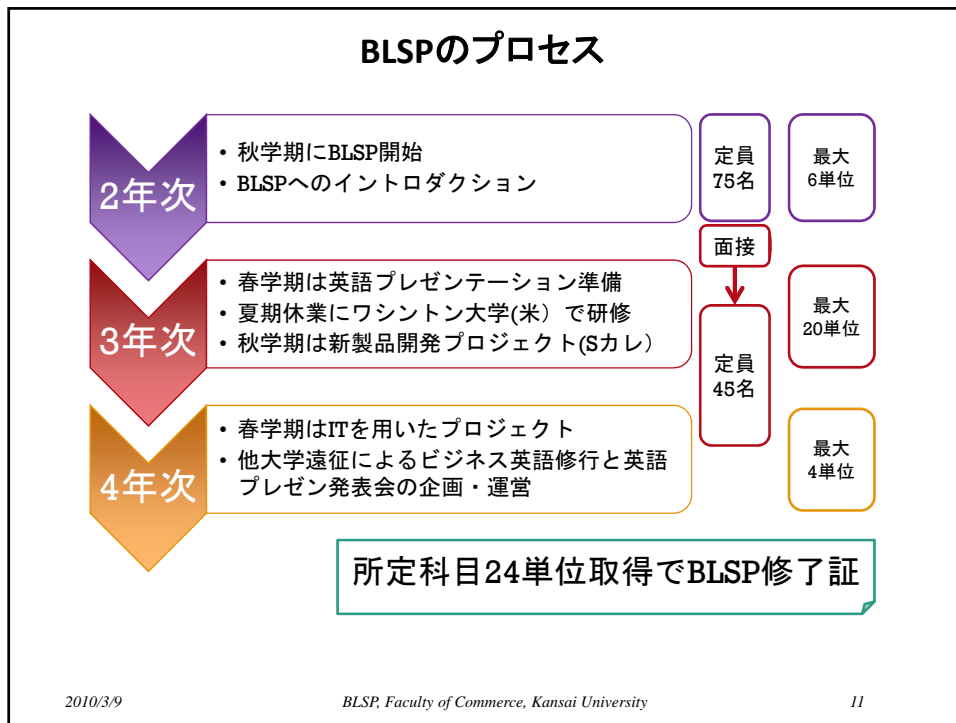
実践 テクノロジーマネジメント(英語)
12月(1週間、日程調整中、5～7限目)



☆BLSPホームページに
動画メッセージあり

アンソニー・ディベネディート教授

2010/3/9 BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University 10



Playful & Cool The Four Educational Programs Unique to Kansai University's Faculty of Commerce Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills

THINK > ACT KANSAI UNIVERSITY

BLSPのコンセプト

Proactive Leader

Excellent English Skills

Playful and Cool

率先して行動できるリーダーを目指して
優れた英語力を身につけ、
楽しく、カッコよく学ぶ
プロジェクト実践型プログラム

2010/3/9 BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University 13

Playful & Cool The Four Educational Programs Unique to Kansai University's Faculty of Commerce Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills

THINK > ACT KANSAI UNIVERSITY

実践データ分析


- マイクロソフト社との共同プロジェクトの実施。
シアトル本社で英語でプレゼンテーション。

川上先生 • 電子書籍リーダーの可能性と課題

岸谷先生 • 広告におけるSNSの可能性

馬場先生 • 国境を越えたボーダレス社会でのITの果たす役割とは


2010/3/9 BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University 14



実践海外研修

- 2010年9月6日(月)～12日(日)現地5泊7日
- カラーパンフレットと「受講生の葉」参照。
- 3ゼミ合同で実施。
- ワシントン大学から修了証
(3日間の授業、企業見学、英語プレゼン)
- マイクロソフト社での英語プレゼンテーション
- 現地の施設見学等(球場英語ツアー他)

2010/3/9
BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University
15



今、やらなければならないこと

- 春休みの事前課題(岸谷先生から後で説明)
- パスポートの取得 ※できれば、春休み中に。
 - ・航空券手配にパスポート情報が必要です。
 - ・本籍地で取得する戸籍謄本(抄本)を取り寄せる必要があります。
 - ・住民登録をしている都道府県の旅券事務所に2回行く必要があります。
- 「受講生の葉」をよく読む。
- 費用を用意する(計29万円)。
- iPodやBLSPのウェブサイトでシアトルの動画を見る。

2010/3/9
BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University
16




Playful & Cool
The Four Educational Programs Unique to Kansai University's Faculty of Commerce
Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills

THINK & ACT
KANSAI
UNIVERSITY

BLSP3年次 秋学期プログラム 実践フィールドワーク

Student Innovation College(S-カレ)




Playful & Cool
The Four Educational Programs Unique to Kansai University's Faculty of Commerce
Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills

THINK & ACT
KANSAI
UNIVERSITY

Student Innovation College(S-カレ)

- 概要
新製品開発活動に関する実践的な作業を商品化を支援するサイト「空想生活」を通じてインターカレッジ形式で経験し、学習することを目的としている。
- 実績
S-カレ2007(7大学126名)
S-カレ2008(8大学115名)
S-カレ2009(13大学228名)


2010/3/9 *BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University* 18



S-カレ概要

- **二つのコンペティション**
商品化達成に向けてのコンペティション
閉会式で行われるプレゼンテーション大会
- **3人を1チーム単位、それぞれのカテゴリーにおいて商品化や閉会式のプレゼンテーションに向けて作業を行う。**


2010/3/9 *BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University* 19



Sカレ2009実績(サイトオープンから投票終了まで)

- **10月初旬のサイトオープンに向けて各カテゴリーのアイデアを創出
ウェブコンテンツを作成、サイトにアップロード**
- **それ以降、閉会式の前週まで、試作品の作成やウェブコンテンツの修正、同時にプレゼンテーションで行うコンテンツの作成**


2010/3/9 *BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University* 20



Sカレ2009実績(閉会式)

- 二会場によるプレゼンコンペティション
優勝、準優勝、3位決定
- 商品化達成チームの紹介
(閉会式前日に集計済み)
- 協賛企業やエレファントデザイン賞の授与

2010/3/9 *BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University* 21



S-カレ2010予定


- カテゴリー、協賛企業未定
- 開会式
2010年6月26日(土)
明治大学(交通費は自己負担)
- 開会式
2010年11月27日(土)または12月4日(土)
関西大学

2010/3/9 *BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University* 22



BLSPにおける英語教育について

BLSP ビジネス英語ユニット
中邑光男・ケリーカーティス・岡本真由美



Outline of Presentation

- (ゴール) BLSP英語教育の目標
- ↓
- (ルート) BLSP英語教育の方法
- ↓
- (スタート)[参考資料]
関大生の英語力アンケート調査の結果


2010/3/9 *BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University* 24



(ゴール) BLSP英語教育の目標

- **ビジネス英語基礎力アップ**
 - 2年間でTOEICの得点を200点以上アップ
- **ビジネス英語発信力アップ**
 - ワシントン大学でのプレゼンテーション力
 - プレゼンテーション・キャラバンでのプレゼンテーション力

2010/3/9
BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University
25



(ルート) BLSP英語教育の方法 (1)

UNDERSTANDING

Listening
Reading

SPEAKING


Spoken interaction
Spoken production

Phase 1

Phase 2

Phase 3

2010/3/9
BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University
26




(ルート) BLSP英語教育の方法 (2)
授業内

「上級ビジネス英語(BLSP)」: Phase 1 (第1～11週)

- 技術としてのプレゼンテーションを実践を通して学ぶ。
- 発信型の英語を作成するのに必要な観点を説明し、トレーニングする。
- 小スピーチを通じて、書く力と伝える力を身につける。

2010/3/9 BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University 27




(ルート) BLSP英語教育の方法 (3)
授業内

「上級ビジネス英語(BLSP)」: Phase 2 (第12～14週)

- 発表原稿のチェック
- 「実践 海外研修」に間に合うように、主に夏休みに英語の原稿を書き、教員の添削を受ける。
- 小スピーチを通じて、書く力と伝える力を身につける。

2010/3/9 BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University 28



(ルート) BLSP英語教育の方法 (4)
授業外

- 1日最低1時間の英語学習。
- 語彙力を増強する。
 - (例)『THE WORD 3000』, BLSP単語集
- 英語の基礎力を上げる。
 - (iPodなどを使っての学習)
 - (例)発音記号の使い方, 辞書の使い方
 - Extensive Reading, Extensive listening


2010/3/9 BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University 29



Extensive Listening

“Learning English”
“Business English Stories”
many free podcasts

2010/3/9 BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University 30




Extensive Reading

Foundations
200 words

Penguin Readers
2,000 words

2010/3/9 *BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University* 31




Extensive Reading

Tips

1. Start with Simple Stories
2. Just read & listen
3. Read & listen a lot

2010/3/9 *BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University* 32



Assignment

Take out a graded reader
today, after this meeting

"Learning English" and 1
"Business English" story


2010/3/9

BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University


33

平成22年度 関西大学商学部
「ビジネス研究（アントレプレナー）」
〔BLSF関連科目〕
講義のご紹介

2010.03.09



The Four Educational Programs Unique to Kansai University's Faculty of Commerce
Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills




THINK > ACT
KANSAI
UNIVERSITY


講義概要

- 様々な分野におけるビジネス専門家のリレー講義により、起業・創業に必要な知識・ノウハウの習得を目的とし、また、ベンチャースピリットの醸成を図ると共に、将来における優秀で有望なアントレプレナーの輩出を指す。
- また、実際にベンチャー企業等に対し経営支援を行っている専門家の現場感覚から、最新の社会の動き、具体的なビジネス事例について情報提供を行う。

3810/3/9 BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University



The Four Educational Programs Unique to Kansai University's Faculty of Commerce
Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills



THINK > ACT
KANSAI³⁶
UNIVERSITY

講義計画と講義テーマ

	回	担当者	講義テーマ
講義計画	1	真造 豊久	現在のビジネス環境と起業
	2	小林 寛治	起業に必要な知識と法務
	3	松本 美香	様々な法人の種類と会社設立の方法
	4	石橋 研一	会社設立時における資金調達とその方法
	5	〃	金融機関の役割とその付き合い方
	6	砂畑恵理子	経営者に必要な財務知識と経営指標
	7	ゲスト講師 真造 豊久	私の起業体験（ビジネスのアイデアと着眼点）
	8	真造 豊久	起業における成功のポイント（ビジネス着眼点）
	9	島ノ内英久	ビジネスプランと事業計画の作り方
	10	〃	正しい企業経営とリーダーシップ
	11	久保 憲二	企業のマーケティング活動とブランディング
	12	森本 直之	これからの起業家にとっての知的財産戦略
	13	真造 豊久	体験型企業経営実践ビジネスゲームⅠ
	14	真造 豊久	体験型企業経営実践ビジネスゲームⅡ



The Four Educational Programs Unique to Kansai University's Faculty of Commerce
Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills



THINK > ACT
KANSAI 37
UNIVERSITY

講師プロフィール 1

	<p>眞造豊久（さいせい）（代表取締役、関西大学商学部 教育G Pコーディネーター） 明治大学政治経済学部卒業後、大和ハウスグループの広告代理店に入社。その後、大手コンサルタント会社に転職。専門は経営・マーケティング戦略。関西大学商学部教育G P採択事業「英語に強いプロアクティブ・リーダーの育成」においてコーディネーターを務める。</p>
	<p>小林寛治（進取法律事務所所長、弁護士） 大阪市立大学法学部卒業、司法試験合格後、弁護士登録（大阪弁護士会）大阪芙蓉法律事務所入所。進取法律事務所開設、所長弁護士として現在に至る。中小・ベンチャー企業の法律顧問を多く務め、各種法務アドバイスを行う。また、会社設立時の法的アドバイスや相談なども多く受け付けている。</p>
	<p>松本美香（松本司法書士事務所所長、司法書士） 平成16年司法書士試験合格、岩見司法書士事務所勤務を経て平成17年独立開業。会社設立、合併、会社分割、増減資、役員変更、種類株式、新株予約権（ストックオプション）等、会社に関する法的アドバイスと実務を行う。金融機関や多くの支援センターで相談員として活躍。親身なアドバイスには定評がある。</p>
	<p>石橋研一（石橋経営会計事務所所長、税理士、中小企業診断士） 大阪大学経済学部卒業後、住友（現三井住友銀行）入行。その後、大手会計事務所に転職。税理士・中小企業診断士の資格を取得する。税務実務はもちろん、各種コンサルティング、組織再編、大規模相続、倒産関連など、多くの業務を行う。その後、独立。ベンチャー企業から中堅企業まで、多くの企業の顧問税理士を務める。</p>




The Four Educational Programs Unique to Kansai University's Faculty of Commerce
Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills



THINK > ACT
KANSAI 38
UNIVERSITY

講師プロフィール 2

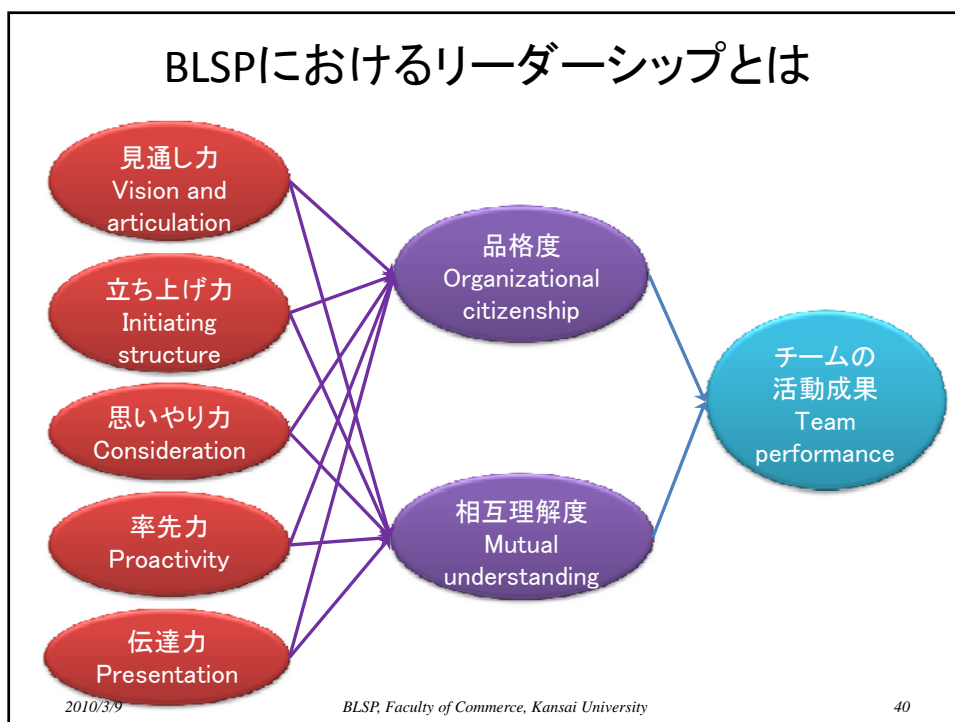
	<p>砂畑恵理子（砂畑会計事務所所長、公認会計士、税理士、中小企業診断士） 公認会計士試験合格後、監査法人トーマツ入所、その後、新日本監査法人入所、平成12年砂畑会計事務所設立。多くの企業に対し経営指導、財務コンサルティングを行っており、各地の中小企業支援センター等において創業・起業家のためのセミナー講師や相談員を務めている。</p>
	<p>島ノ内英久（株式会社ウィレンス代表取締役、中小企業診断士） 九州大学大学院（工学修士）卒業後、ヤンマー（株）に入社。その後、米国イリノイ大学P I M（国際経営管理者養成プログラム）課程留学。その後、外資系コンサルティング会社にて製造業に対する業務改革コンサルティング等を担当。（株）ウィレンスを設立。現在に至る。</p>
	<p>久保憲二（株式会社マーケティングファクトリー代表取締役） 立命館大学産業社会学部卒業後、大和ハウス工業㈱に入社。その後、㈱マーケティングファクトリー設立。市場・商圏調査やマーケティング戦略の立案、ブランド構築、WEBマーケティング、システム開発等を専門とし、不動産業界や広告業界等、多くの業界に精通している。</p>
	<p>森本直之（もりもと特許事務所所長、弁理士） 愛媛大学工学部金属工学科卒業後、機械部品メーカーに入社。エンジニアとして勤務。生産技術や製品の開発に携わる。その後、弁理士登録。起業家やベンチャー企業の知的財産戦略に力を入れたいという思いで、ビジネス支援やコンサルティングに取り組んでいる。</p>

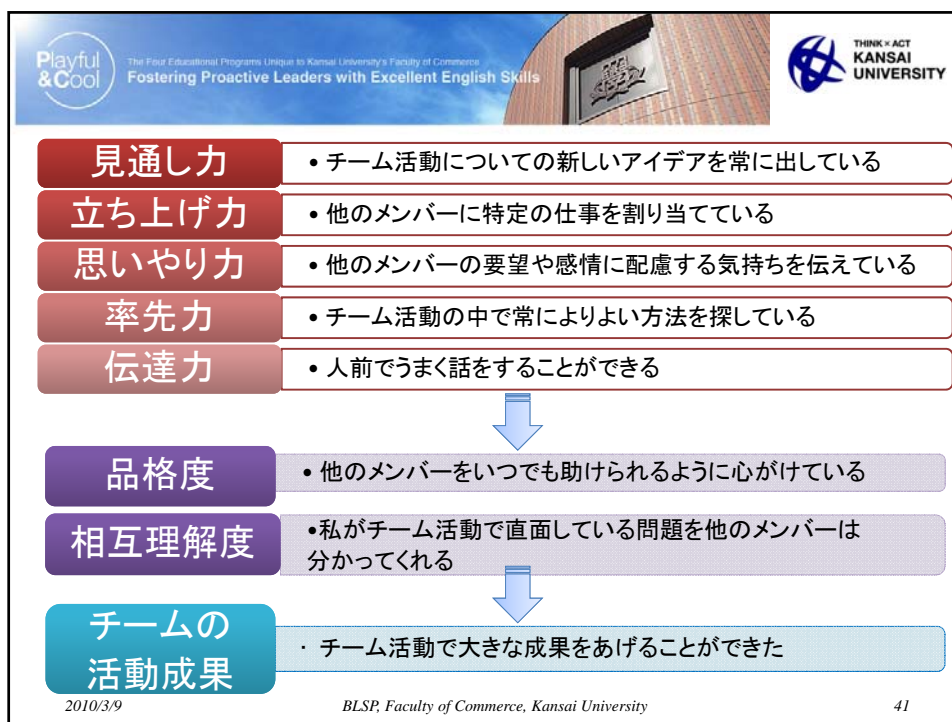


「リーダーシップと英語力」の調査結果

関西大学 商学部

小野善生准教授(自己点検評価リーダー)
岡本真由美准教授(ビジネス英語ユニット)





Playful & Cool The Four Educational Programs Unique to Kansai University's Faculty of Commerce
Fostering Proactive Leaders with Excellent English Skills

THINK × ACT KANSAI UNIVERSITY

調査概要

【調査期間】2010年2月1日～2月25日

【調査対象】関西大学商学部2年次生235名

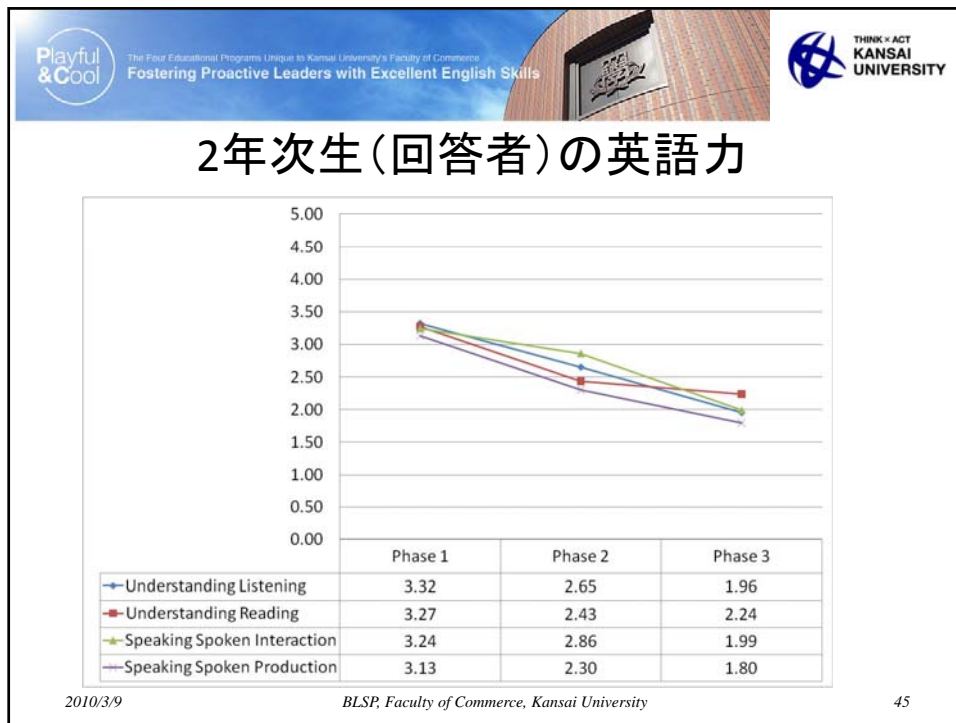
【調査方法】インフォメーションシステム経由のインターネット調査

【回答者】 86名(回収率36.6%)

【男女比】 男子44名、女子42名

2010/3/9 BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University 42





Understanding (1) Listening (N=86)

フェーズ	項目	4以上の 人数	平均値
Phase 1	日常生活の身近な話で使われる語彙を理解することができる。	53	3.53
Phase 1	簡単な内容であれば、英語で行われる授業や研修を理解することができる。(外国の文化や生活の紹介など)	44	3.31
Phase 1	公共の場でのアナウンスを聞いて、重要なポイントを理解することができる。(館内放送、注意事項など)	44	3.36
Phase 1	買い物で店員からの簡単な説明を聞いて、理解することができる。(サイズ、割引、品切れなど)	46	3.38
Phase 1	相手の学校(会社)について、簡単な紹介や説明を聞いて、理解することができる。(場所、人数、特徴など)	30	2.99
Phase 2	興味・関心のある話題に関するまとまりのある話を理解することができる。(講演、講義など)	19	2.81
Phase 2	テレビやラジオのニュース番組を聞いて、その要点を理解することができる。	17	2.53
Phase 2	公共の施設や学校などで、簡単な指示や説明を聞いて、理解することができる。(施設の使用上の注意、会員カードの使い方など)	28	2.81
Phase 2	交通機関における指示や連絡事項を聞いて、理解することができる。(乗り換え方法、乗り物の遅れについてのアナウンスなど)	29	2.90
Phase 2	自分の仕事や専門分野の内容をゆっくりとであれば、電話で注文や問い合わせを聞いて、理解することができる。	8	2.20
Phase 3	幅広い話題に関するまとまりのある話や、複雑な内容を理解することができる。(一般教養的な講演や講義など)	6	1.84
Phase 3	社会的な話題に関する話を理解することができる。(環境問題に関する講演など)	8	2.06
Phase 3	会議に参加して、その内容を理解することができる。(イベントの打合せ、会社のミーティングなど)	8	1.99
Phase 3	テレビやラジオの政治・経済的なニュースを理解することができる。	4	1.94

Understanding (2) Reading (N=86)

フェーズ	項目	4以上の 人数	平均値
Phase 1	一般向けに書かれた説明的な文章を理解することができる。(旅行者向けのガイドブックなど)	39	3.15
Phase 1	日本語の注や説明がついた英字新聞で、興味・関心のある話題に関する記事を理解することができる。	40	3.21
Phase 1	簡単な内容であれば、まとまった量の英文の要点を理解することができる。(講義や研修での課題図書や資料、レターなど)	44	3.21
Phase 1	簡単なチラシやパンフレットを理解することができる。(商品の値段、セールの情報など)	57	3.51
Phase 2	英文の種類や読む目的に応じて、適切に読みこなすことができる。(新聞をさっと読む、評論文を注意深く読む、小説を楽しみながら読むなど)	18	2.47
Phase 2	英字新聞で社会的な出来事に関する記事を理解することができる。	16	2.33
Phase 2	まとまった量の英文の要点を理解することができる。(講義や研修での課題図書や資料など)	15	2.22
Phase 2	仕事に関する手紙(Eメール)を理解することができる。(会議日程、取引内容など)	26	2.67
Phase 2	商品の取扱説明書を理解することができる。(電化製品など)	17	2.48
Phase 3	雑誌の社会的、経済的、文化的な記事を理解することができる。(TIME / Newsweek など)	12	2.31
Phase 3	資料や年鑑などを読んで、必要な情報を得ることができる。(報告書、統計的な資料など)	6	2.07
Phase 3	留学や海外滞在などの手続きに必要な書類を理解することができる。	11	2.33

2010/3/9

BLSP, Faculty of Commerce, Kansai University

48

Speaking (1) Spoken Interaction (N=86)

フェーズ	項目	4以上の 人数	平均値
Phase 1	日常生活で、なじみの深い話題についての簡単なやりとりができる。	39	3.24
Phase 2	日常生活や旅行先で、なじみの深い、または興味のある話題についての即興でやりとりができる。	29	2.86
Phase 3	ネイティブスピーカーと流暢にやりとりができる。なじみの深い、または興味のある話題について、自分の意見を説明したり支持したりできる。	12	1.99

2010/3/9

BLSF, Faculty of Commerce, Kansai University

49

Speaking (2) Spoken Production (N=86)

フェーズ	項目	4以上の 人数	平均値
Phase 1	日常生活の身近な状況を簡単な語彙を使って説明することができる。(遅刻や欠席の理由など)	37	3.09
Phase 1	印象に残った出来事について、話すことができる。(旅行、イベントなど)	31	2.94
Phase 1	自分の学校(会社)について、簡単な紹介をすることができる。(場所、人数、特徴など)	35	3.07
Phase 1	簡単な道案内をすることができる。(例: Go straight and turn left at the next corner.)	59	3.67
Phase 1	電話などで簡単な伝言をすることができる。	23	2.86
Phase 2	自分の意見や、調べたことについて、まとまりのある話をすることができる。(課題の発表、仕事のプレゼンテーションなど)	19	2.56
Phase 2	自分の仕事や専門分野に関する講義や発表などを聞いて、それについて質問したり自分の考えを述べたりすることができる。	10	2.24
Phase 2	商品やサービスについて、苦情を言うことができる。(商品の故障、サービスの内容など)	9	2.10
Phase 2	簡単な内容であれば、電話で用を足すことができる。	10	2.30
Phase 3	社会的な話題や時事問題について、質問したり詳細に自分の考えを述べたりすることができる。	4	1.90
Phase 3	会議に参加してやりとりをすることができる。(イベントの打合せ、会社のミーティングなど)	6	1.91
Phase 3	自分の専門分野の話題に関して、詳細に説明したり、論理的に意見を述べることができる。	4	1.73
Phase 3	幅広い内容について、電話で交渉することができる。(予定の変更、値段の交渉など)	5	1.66
Phase 3	相手や状況に応じて、丁寧な表現やくだけた表現を使い分けることができる。	5	1.78